

---

## 5年 研究授業計画

東二番丁小学校 5学年担任 石井 妙子

---

### 1 研究教科 総合的な学習の時間

#### 2 総合的な学習の時間でめざす児童像

自分の興味関心を生かして調べたい課題を設定し、課題解決に向け進んで物事にに関わり、自分なりの意見を持ちながら、友だちの意見を聞くことにより考えを広げたり深めたりし、自分の生活に生かしていこうとする。

#### 3 児童の実態

前向きに取り組もうという気持ちがあり、関心事はそれぞれではあるが、調べてみたい、関わってみたいという意欲がある。しかし、集中して取り組める時間や、調べる方法や対象への迫り方を考える、調べたことをまとめ・表現する力は、個人差がある。また、自分自身の思いが強いあまり、他者の考えを受け入れにくいところもあるので、他の考えを聞き自分の考えに生かす姿勢を育てていく必要がある。

生活環境が街中であることにより、自然と自らの暮らしとの関わりについての知識はあるが、実感をもって切実に感じる機会は多くはない。だからこそ、自然体験をたくさんしていきたいという願いがあり、5年生での総合的な学習の時間の取り組みに意欲を持っている。

#### 4 授業研究計画

- (1) 共通体験について、取り組んできた個人課題やゲストティーチャーの話に関連づけながら自分の考えを持ち、それを交流することで、考えを広げたり深めたりする授業。
- (2) 共通体験や体験に関わったゲストティーチャーの話を、比べたり関連づけたりすることで、自分の考えを持ち、それを交流することでさらに考えを深める授業。

#### 5 技術課題

- ・ 児童の探究的活動に取り組む意欲を喚起する単元計画を工夫する。
- ・ 感想や考えを伝え合ったことにより、自分の考えが広がったり深まったりしたと実感でき、各自が自分の学びや成長に気付くことができるようにする方法を工夫する。

## ◎ 教科の目標と研究内容の関連

### (1) 指導要領より

#### 〈 教科の目標 〉

横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに、学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにする。

総合的な学習の時間の目標は、

- (1)横断的・総合的な学習や探究的な学習を通すこと
- (2)自ら課題を見付け、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成する資質や能力を育成すること
- (3)学び方やものの考え方を身に付けること
- (4)問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育てること
- (5)自己の生き方を考えることができるようにすること

という五つの要素から構成されている。

各学校においては、(1)～(5)の目標の構成について十分に理解し、各学校において定める目標及び内容に反映させ、創意工夫して実践していくことが求められる。

### (2) 今年度指導するポイント

- ① 自分の興味関心を生かして調べたい課題を見つけ、調べたいことに関わるひと・もの・ことに直接関わったり、自分の日常を見つめたりふり返ったりしながら調べさせる。
- ② 体験や考えを共有する場を意図的に設けることにより、互いの考えを伝え合い、それぞれの考えを広げたり深めたりさせる。
- ③ 自分の考えの広がりや深まりを可視化することにより、自分自身の成長に気づき、学んだことを実践しようとする意欲につなげる。

#### 〈具体的取り組み〉

- ① 植物の栽培や栽培に必要な肥料づくりを体験し、植物の成長や食物になるまでの手数を実感することにより、食べ物の大切さや、植物の特性、育てる方の苦勞について考えさせる。
- ③ 結実したものを加工した食物にする体験をし、その良さや工夫について考えさせる。
- ④ 食に関わる体験を通し、食べ物の大切さや、食べ物を作る楽しさ、自分自身の成長のために食べることを学ぶとともに、命のつながりを実感させる。